



お
得
セ
ツ
ト

丸
呑
み
吸
取
S
E
E
X

閃
乱
カ
ラ

ドド

離しててください！
生贄なんて嫌です！

本日の生贄で
ございます！

ポハソ

ポハソ

ドド



ポタッ

ポタッ

くっ!
気持ち悪い...

今日の生贄は
なかなか旨そうだな。
涎が止まらないよ。
さあ覚悟しろ...





おやあり

ポルン

どろろ

どろろ

これが邪魔だ

どろろ

アッ

俺様の養分と
なるのだ・・

ポ
ン





くっ・・・
このまま食べられる
わけにはいきません

ほう・・・
よく耐えたな



フワッ

それならばまずは、
こつちからエネルギーを
奪ってやろう・・・

!?



えっ!?

ククク

ギ
ギ
ギ

若い生娘の
エネルギーが
一番旨い

そんなところ！
やめなさい！





はじめは痛い
が、
直に気持ちよくなる

くっ

んんん

グッ

貴様の処女は
俺様に
奪われるのだ

うあああ
やめ……て……

ハハハハ

グ
グ
グ



自らも腰を動かすとは、
感じれば感じるほど
エネルギーは奪われて
いくぞ？

違います！
感じてなんか！
んっ♡



貴様の若々しい
エネルギーが
どんどん
流れこんでくるぞ

んっ♡んっ♡
ダメ．．
腕に力が．．



ついに呑み込まれて
しまったな。
逝け！
逝ってしまおうのだ！

んーっんーっ
(やめて！)
お願いです！



逝った時の
エネルギーは
また格別だな

（こんな化け物
に逝かされて
しまうなんて…）

はあはあ♡

はあはあ♡



休んで
いる暇は
無いぞ
これから
貴様の
肉体を
取り込
んでやる

(はあ♡はあ♡
そんな..
いやあ..)

はあ♡
はあ♡

はあ♡
はあ♡



ピチピチと
新鮮で旨そうな
体だ・・・

(ダメッ！
エネルギーを
吸われて
抵抗できない)

グポツ

バタツ

バタツ

バタツ



誰か助けて...

ふふふ
全て呑み込んで
しまったぞ

ゴニョ
ゴニョ

ゴ
ゴ



嫌熱
つい
!!

何処から吸収
してやろうか

シ
ユ
ウ
ウ
ウ
ウ

プスツ

やはり、
脂肪をたっぷり
蓄えたここら
旨そうだ

プスツ

ひっー！
(まさか
ここから...)

プスツ

プスツ



いやああ
ああ!

ドクンツ

ドクンツ

美味いぞお!
美味いぞお!

ドクンツ



やめてええ
食べないでええ

プリプリと
してて実に
美味しい。

ドクンッ

ドクンッ

ドクンッ



いやあああ

ククク。
若い娘の踊り食いが
一番美味しい

いやあああ

バタツ

バタツ

あ・・

ドクンツ
ドクンツ
ドクンツ

ドクンツ
ドクンツ
ドクンツ

ああ・・

ドクンツ
ドクンツ
ドクンツ

ドクンツ
ドクンツ
ドクンツ

ドクンツ
ドクンツ
ドクンツ

遂に大人しくなったか……
徐々に意識も途絶えて
行くだろう

あ・・

ドクンツ
ドクンツ

ドクンツ
ドクンツ

ああ・・

しお・・

ドクンツ
ドクンツ

しお・・

貴様がいくら強かろうと、俺様の前ではただの餌でしかないのだ。

ドクンツ
ドクンツ

ツ

あ……

ドクンツ
ドクンツ

ドクンツ
ドクンツ

あ……

しお……

ドクンツ
ドクンツ

しお……

鍛えてきた
貴様の肉体を
全て差し出すが良い

ドクンツ
ドクンツ



.....

ドクンッ

ドクンッ

しお。。。

ドクンッ

しお。。。

ここまで吸収されても
なお腕は落ちぬか。
見あげた根性だ。

ドクンッ



ついに動けなくなっ
たか。安心して一滴
残らず吸収してやる

う……

あ……

ぐんぐん

ぐんぐん

パツ

苦労して捕えただけあって
実に美味かったぞ。
だが、まだ足りん。
次の生贄を連れて来い

はい！
もう1人も魔人様の
お口に合う料理に
仕上がっている事と
思います。



はあはあ…
お願いします。
助けて下さい。

はあはあ♡

媚薬に漬け込まれて
トロトロに
仕上がっているな。
まさに食べ頃だ



そんな…
雪泉さんを…
でも、わたくしは
美味しくなんて
ありません…

はあ
はあ♡

先程喰らった
雪泉という忍も
実に美味だったぞ

むっちりとしていて
貴様も美味そうだ。
たっぷり
かわいがってやる

きゃっ！
いやっ！

アハハハ

ククク



まずは、口から
エネルギーを
吸い取ってやろう

やめてくたさーませー！
んんっ！

んんっ！

んんっ！



感じていようだな。
濃厚なエネルギーが
どんどん
溢れてきているぞ

んっ♡
(敏感になっ
ていますわ…
抵抗できな
い…)

んっ♡

んっ♡

んっ♡



完璧な肉の仕上がりだ。
さあメインディッシュを
頂くとしよう

はあ
はあ♡

はあ
はあ♡

おはっ…
もう…
やめ…っ…

ヾ
ヾ
ヾ

ヾ
ヾ
ヾ





さあ
喰らってやろう

んぐっ

ズッ

あん
あん
あん

あん
あん

あん
あん

そんな…
でも気持ち良い…また
逝ってしまいますわ

最後まで絶頂を
感じさせながら
食らってやろう

ズ
チュ
ズ
チュ





はあ はあ

はあ はあ

やはり、
貴様も雪泉のように
犯してから
喰らってやろう

グッ

グッ

グッ



えっ！

ビ
グ
ン
ン

俺様の物を貴様も
しっかり味わうが良い

キ
ン
ン

最初で最後の快楽を
しっかりと味わうのだ

いやあああ

ズ
チュ

ズ
チュ
ズ
チュ

ズ
チュ



き…気持ちいい…
ですわ…だから
もう許して…

フハハ。
気持ちよさそうだな

ズ
チュ

ズ
チュ
ズ
チュ

ズ
チュ



さあ！
思う存分
逝き果てるが良い

あ
あ
あ
あ
あ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ



淫らな肉汁が溢れているな。しっかり舐めてやろう

ははあ
はあ♡

そんなとこ……舐めないでえ……

ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ

グッ
グッ



バタツ

さあ！俺様の体内に
消えゆくが良い！

いやっ！
助けて！

バタツ

ゴッポ

バタツ

ゴッポ

バタツ



やめてっ
やめてっ

覚悟を決めろ!

ゴゴゴ

ゴゴゴ

むっちりとした
肉感がたまらんな

やめて！
呑みこまないで！

ギユプツ
バタツ

バタツ

ギユプツ

まだ暴れる力が
残っていたのか。
実に活きの良い生贄だ

いやっ!
いやっ!

ギユプツ

ギユプツ

ギユプツ



グ
グ
グ

グ
グ
グ

こんな最期……
いやあ……

ククク……
捕らわれた時点で
こうなる運命だったのだ

何ですの
これ...の
体が...
熱い...

貴様は快樂に
漬け込みながら
食らってやろうか

412070
412070
412070

412070



ブズツ

痛みですすら最早快感に
変わっているだろう

ブズツ

ブズツ

グッ

んっ♡

あんっ♡そんな…
食べられてるのに…
気持ちいい…

屈辱と快楽に満ちた
素晴らしい味わいた

ドクンッ

ドクンッ

ドクンッ



う…ああ♡…

ビ
グ
ン
ツ

愛液も枯れ果てて
いるだろうに、
まだ感じて
いる様だな

ビ
グ
ン
ツ

ド
ク
ン
ツ

ド
ク
ン
ツ

ド
ク
ン
ツ



しお。。

薄れゆく意識の中でも
快楽で一杯のようだな

しお。。

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

あ。。

あ。。



しお。。。

今日は大量の
生体エキスを
吸収し出来たな

しお。。。

ズ
ムムムム

ドク
ンツ

ドク
ンツ

ドク
ンツ


しお。。。

。。。。





美味かったぞ。
エネルギーが
満ち溢れてくるわ。



おい！
これをつんばの元へ
と届けておけ。

ククク。
奴らがどんな顔をするか
楽しみだ。さあ次の娘は
どう料理してやろうか

はっ！
了解しました

雪泉が失踪し数日たった頃、月閃女学院に一通の手紙と雪泉のリボンが届けられた。

『貴様らの仲間の雪泉は預かっている。返してほしくば東の洞窟に來い。』

夜桜「そんな！雪泉さんが…」
四季「絶対助け出そう！待っててね雪泉ちゃん…」

意を決したように頷く叢と美野里。
雪泉を助けるために洞窟に向かった彼女達だったが…

「きゃあああああ！」「いやあああああ！」「やめてええええええ！」
既に雪泉と詠を喰らいパワーアップした魔人に勝てるはずもなく、
捕えられた4人は全員魔人の餌食となってしまう。

同じように手紙の届いた、焰紅蓮隊の焰、日影、未来、春花も
あっけなく魔人の前に敗北し、丸呑みにされてしまう。

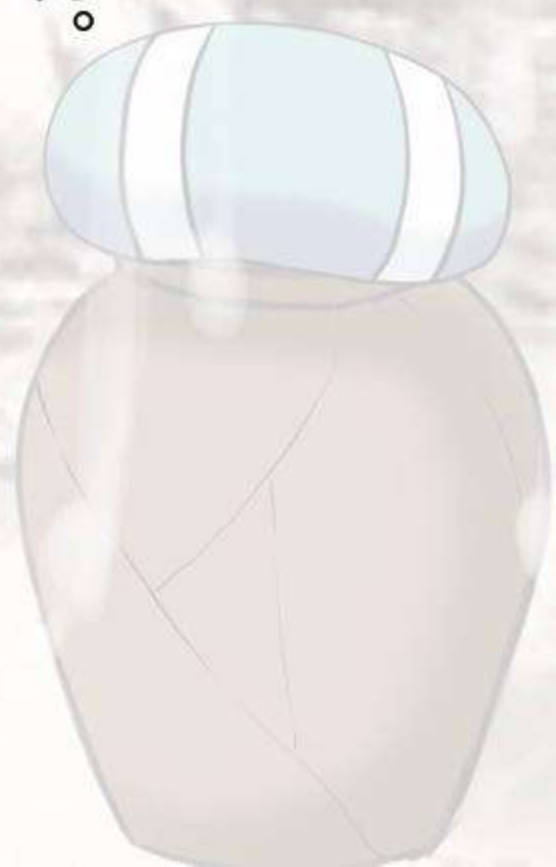
「フハハ。美味しい！美味しいぞお！今度はこちらから襲撃してやろう。
蛇女子学園と半蔵学院だったな！」

丸呑みする前に拷問して情報を入手した魔人は蛇女子学園と半蔵学院に襲撃する。

雅非「お前がここ数日の事件の犯人だな！」
飛鳥「絶対負けないんだから！」

あえなく敗北した蛇女子学園と半蔵学院の生徒、
合計10人の忍を捕えた魔人は1日に1人ずつ丸呑みにしていく。

そして10日目、最後の生贄である飛鳥の番がまわってくるのであった。



そんな…
みんなを…
みんなを返して！

月閃も半蔵も蛇女も
紅蓮隊もどの忍も
美味かったぞ。
さあ最後はお前一人だ



ズボッ

ふふっ！

すぐ会わせやる。
俺様の体の一部
としてな！



んんん

ビュッポッ

名残惜しいが
この世界にいられる
時間もあと
少しのようだ

ビュッポッ

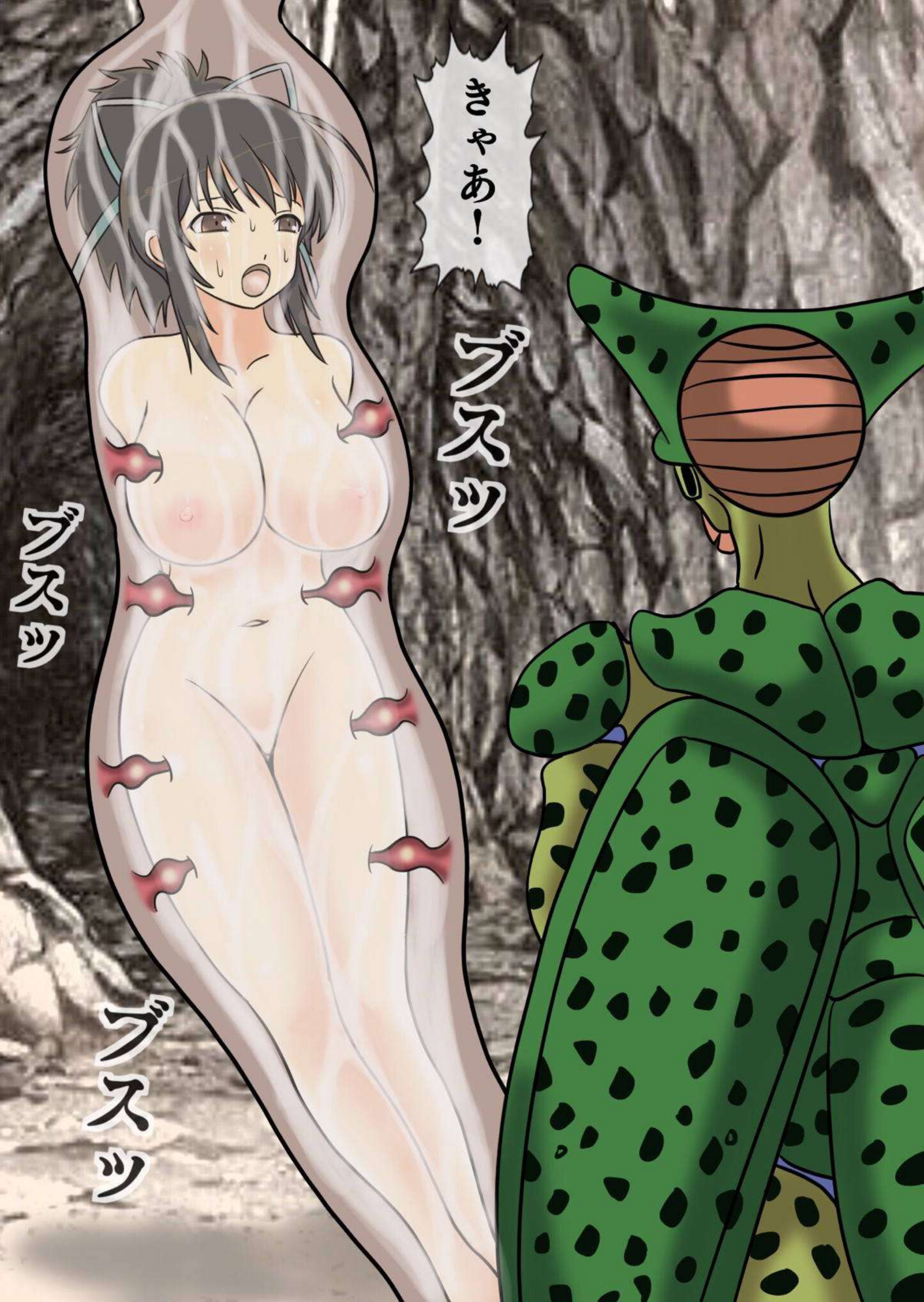
ビュッポッ

きゃあー！

ブスツ

ブスツ

ブスツ



んぐううう

!!!

さあ、一気に
吸収してやろう

ドクンッ

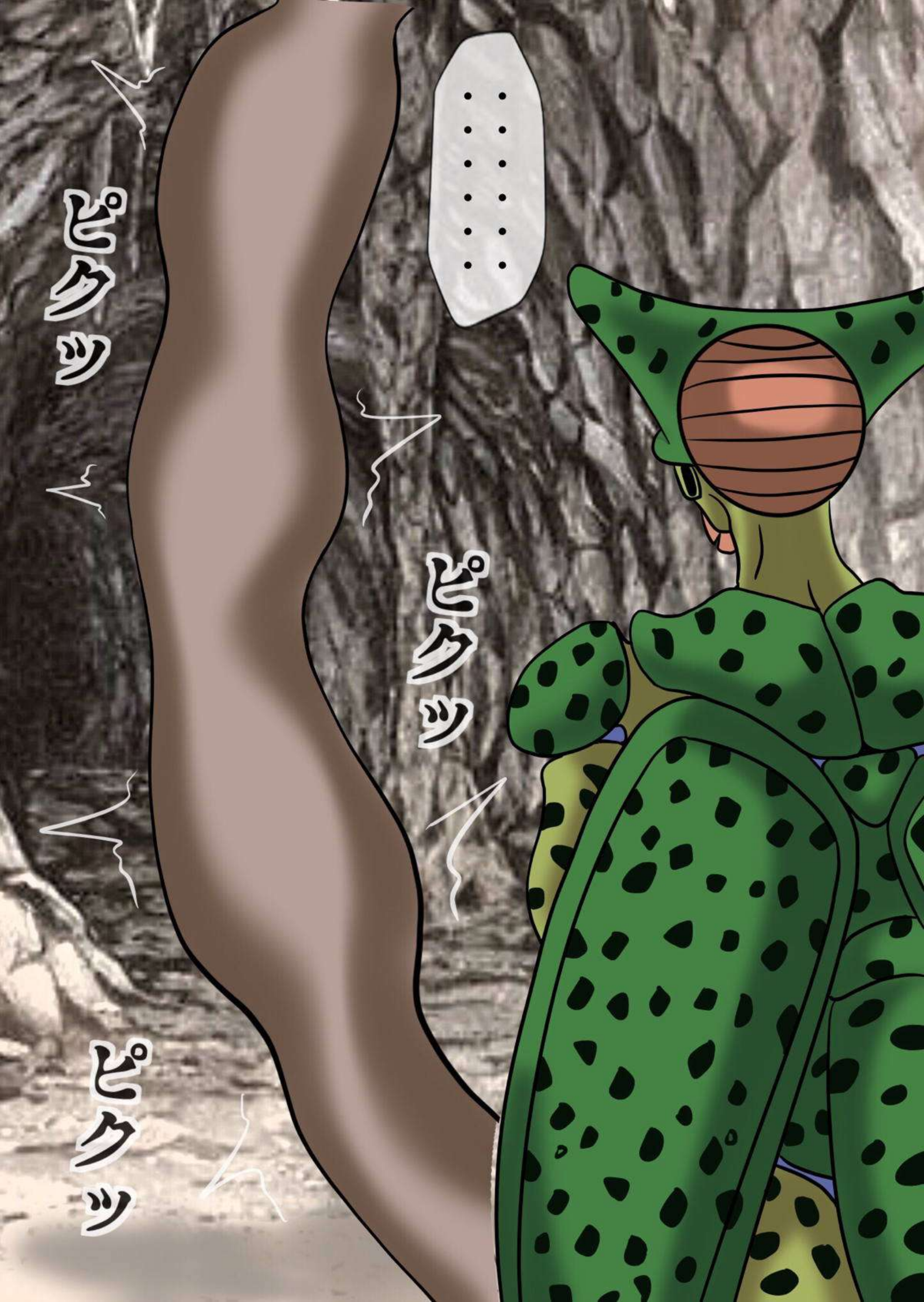
ドクンッ

ドクンッ

ਸ੍ਰੀ ਗੁਰੂ ਗ੍ਰੰਥ ਸਾਹਿਬ

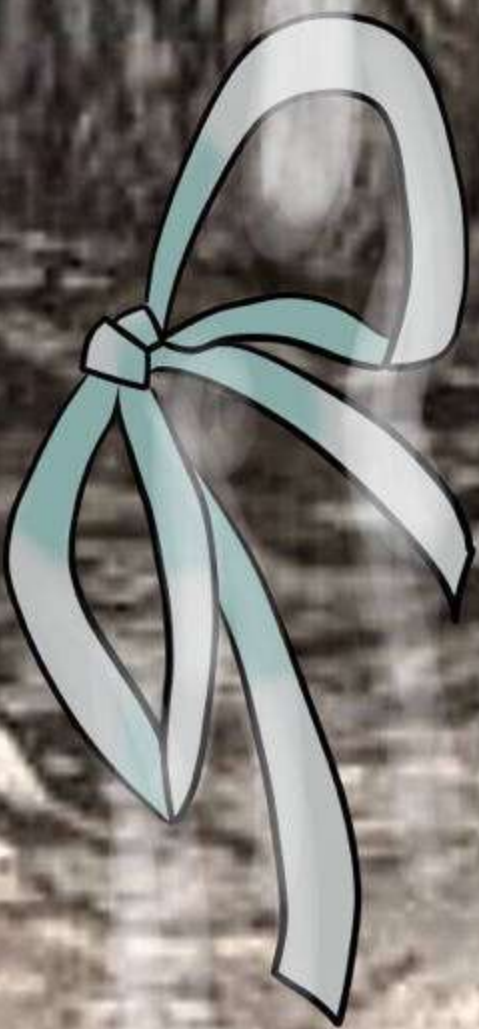
ਸ੍ਰੀ ਗੁਰੂ ਗ੍ਰੰਥ ਸਾਹਿਬ

ਸ੍ਰੀ ਗੁਰੂ ਗ੍ਰੰਥ ਸਾਹਿਬ



人
を

この世界は
もういいな。
新たな世界に
移動するとするか。



















































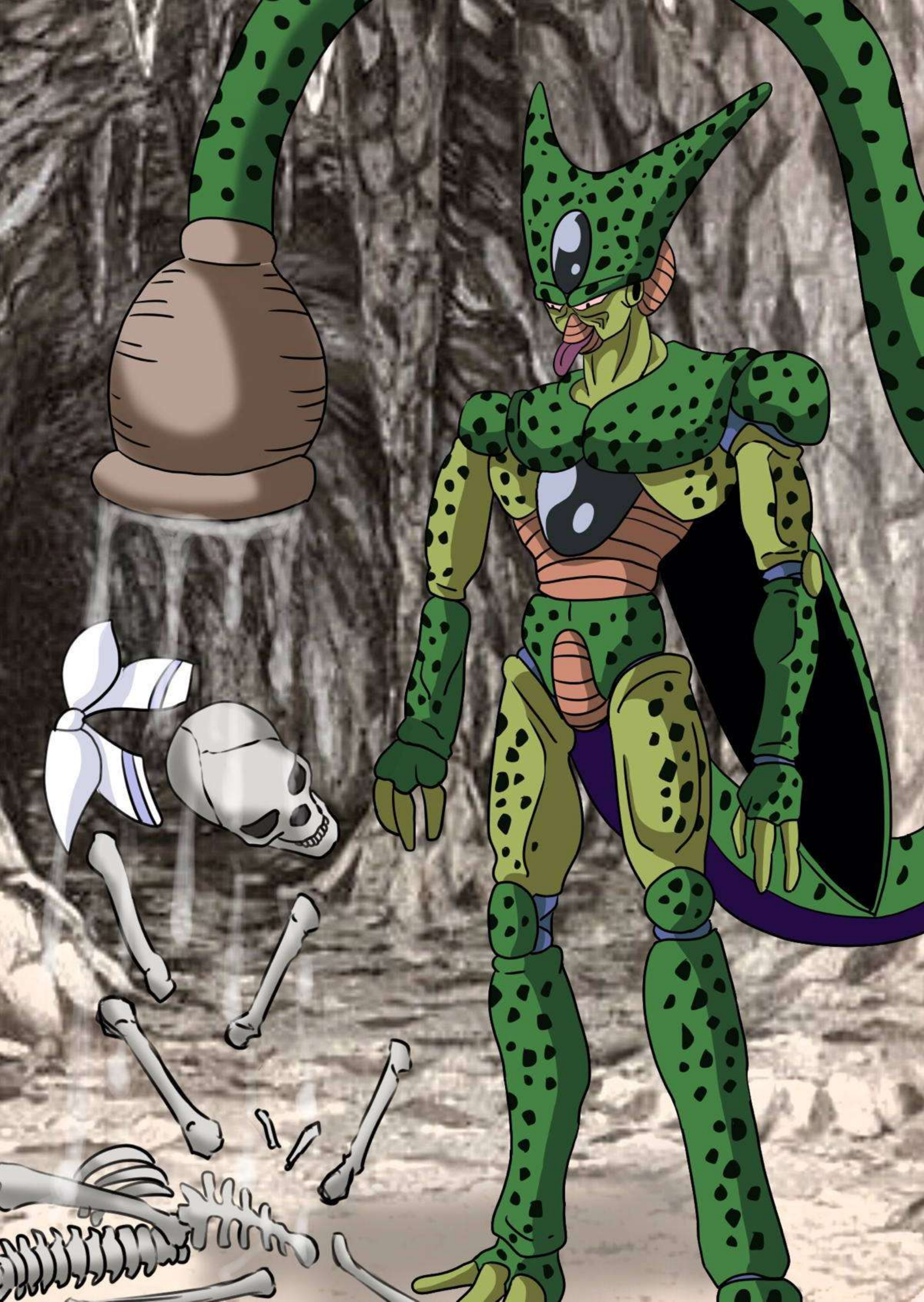














































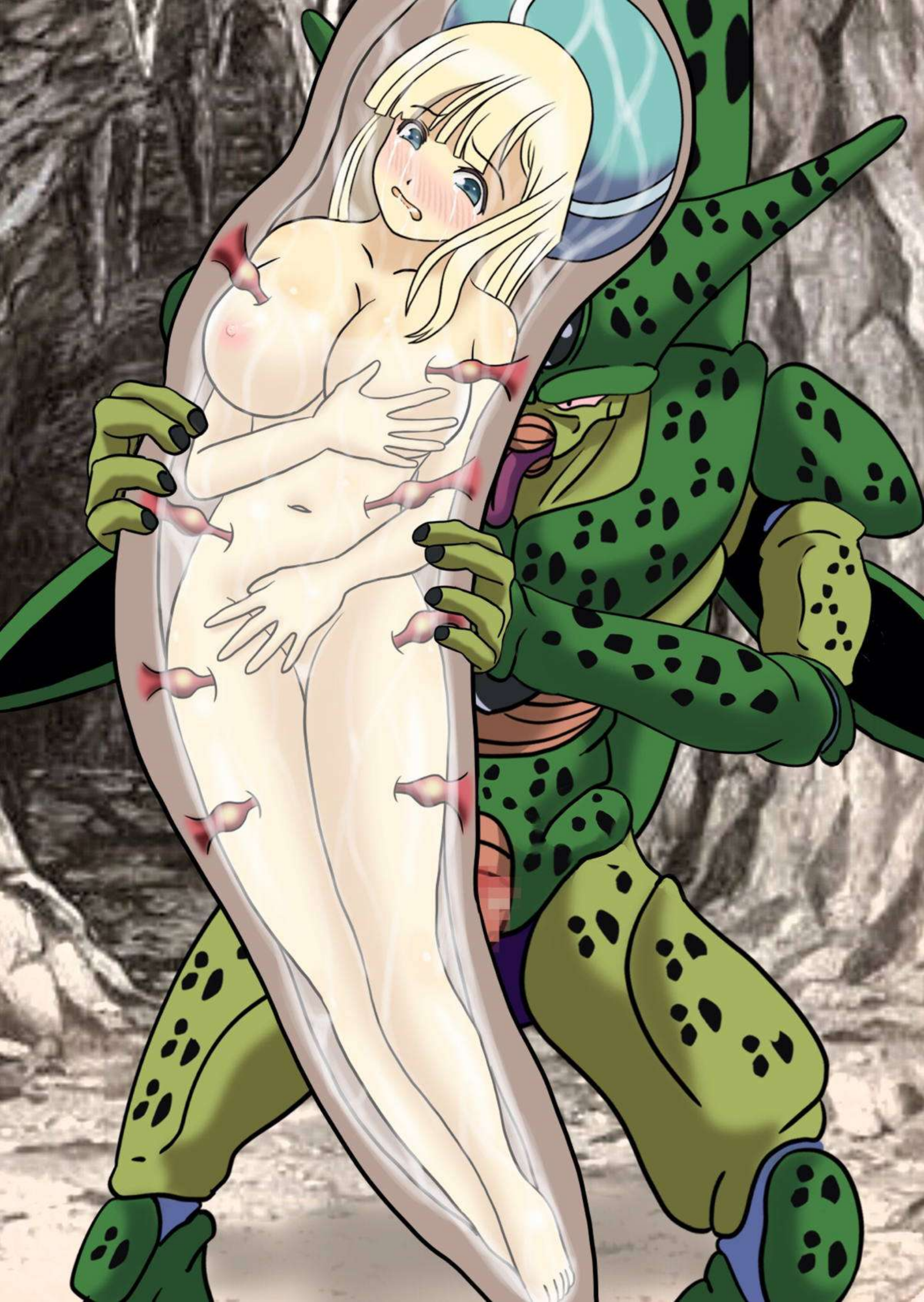
















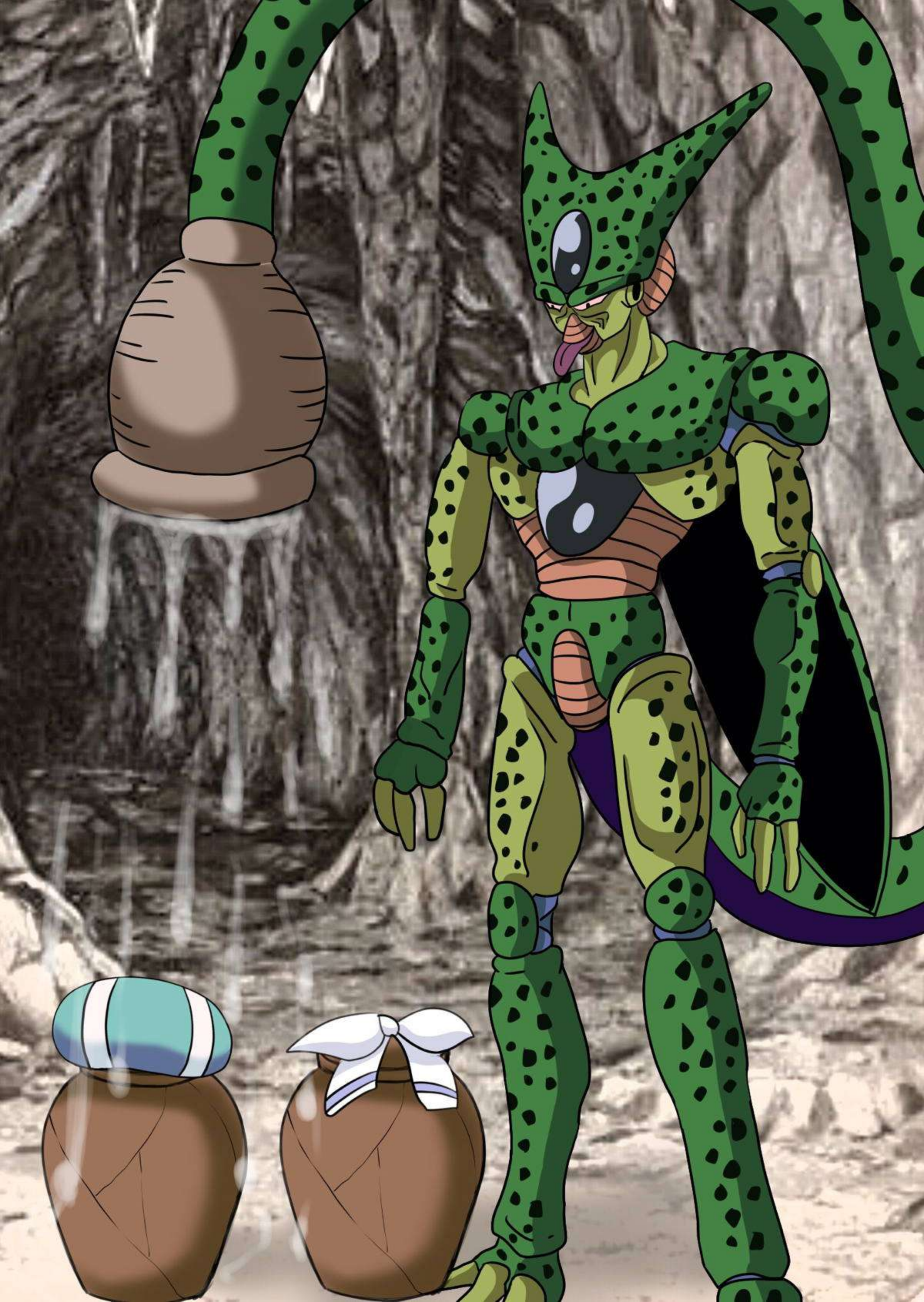








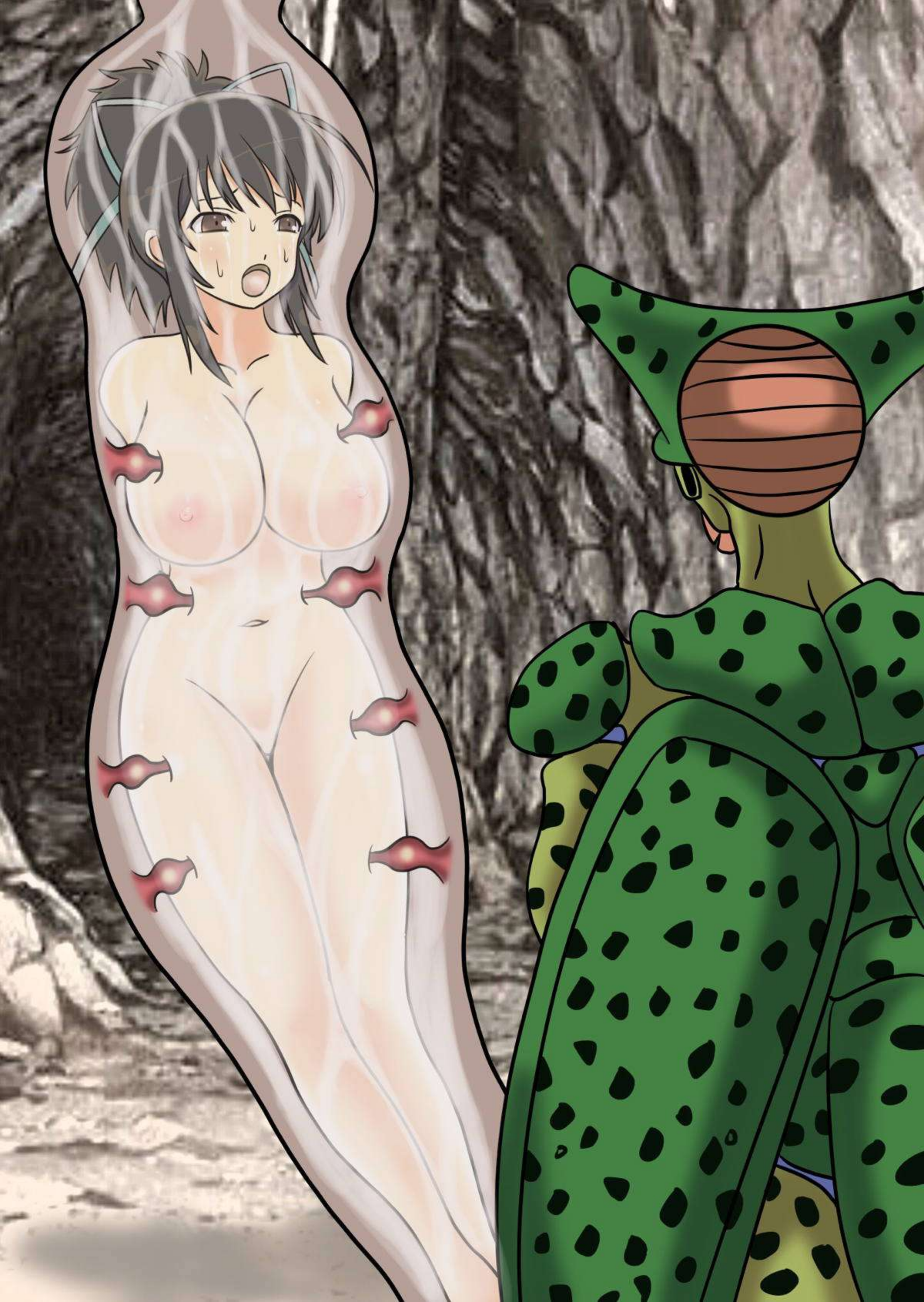












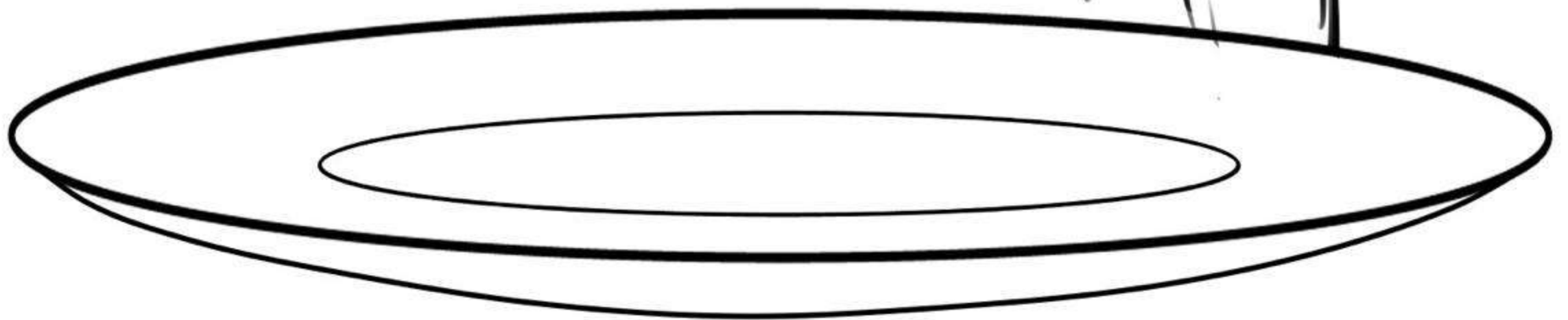
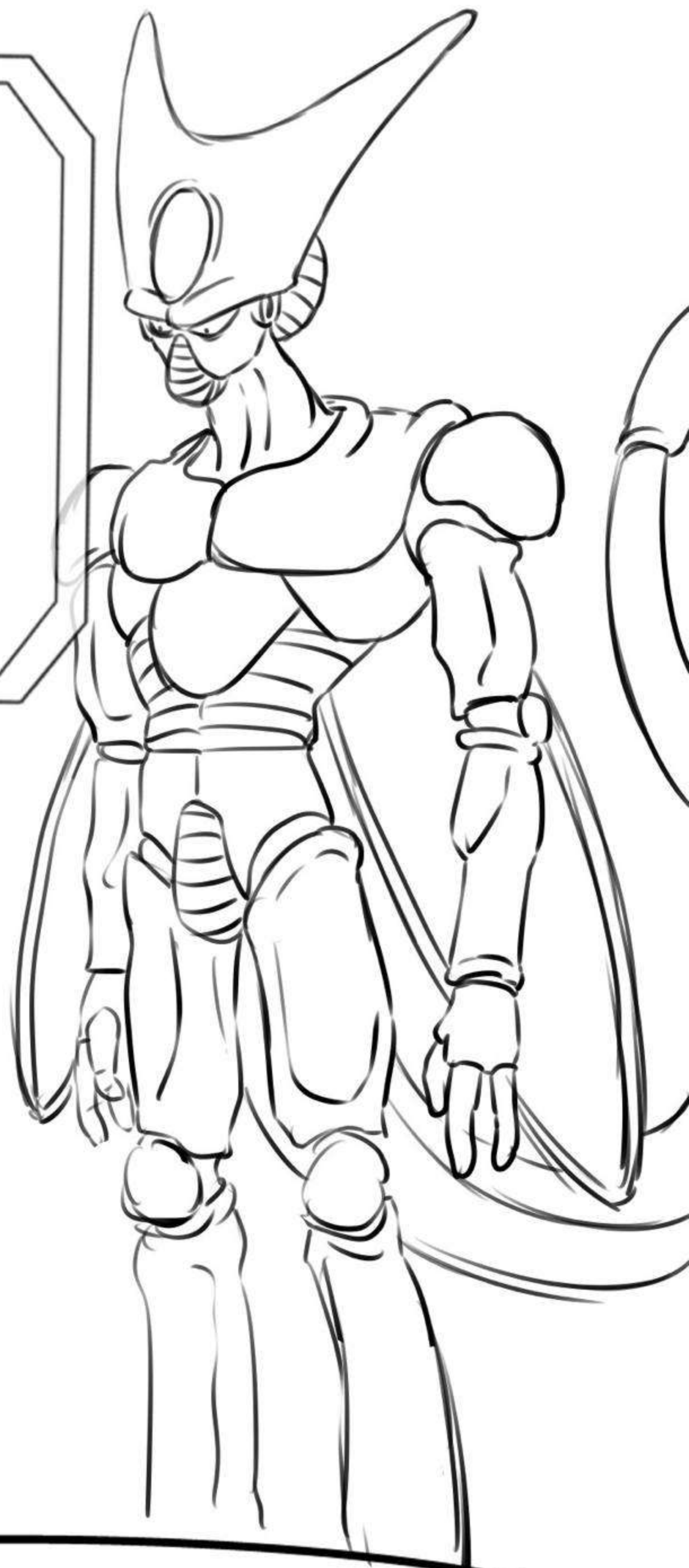




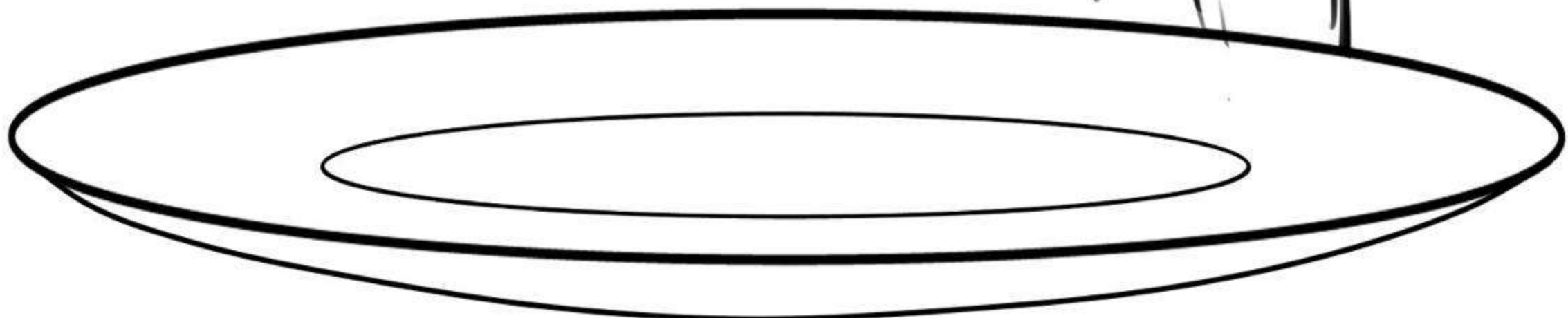
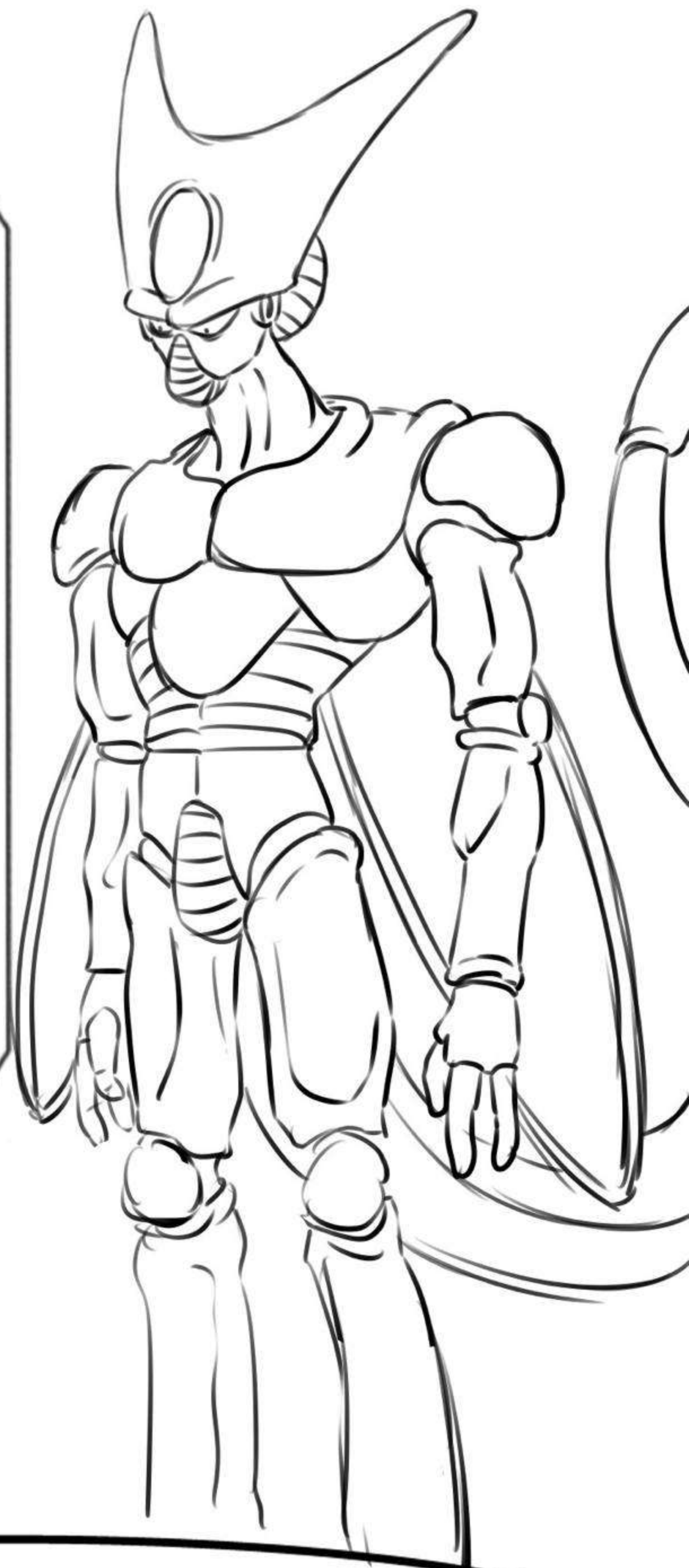


本日のディナーは
以前退けた女勇者達の
フルコースでございます。
しっかりと下準備して
参りました。

捕えられていた、
あの旨そうな
4人の女勇者達か。
楽しみだな

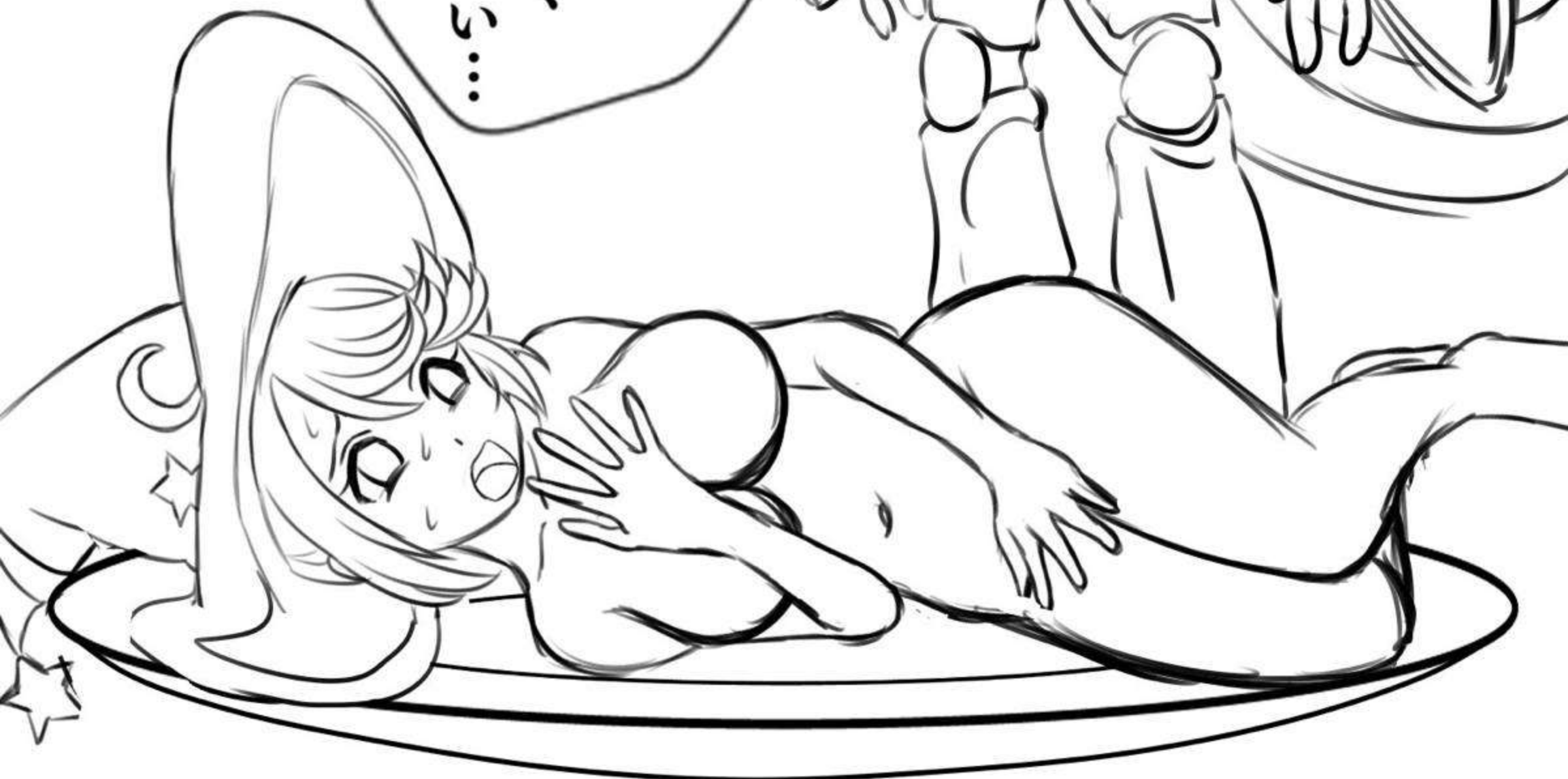


まずは、メイジでございます。
豊富な魔力と若くピチピチとした
肉体を持つ最高級素材でございます。
155cm B98 W56 H88のーカップ、
うぶな少女が羞恥に悶える様を
お楽しみ下さい



ビキニアーマーを
脱がせると、
期待以上だ。
美味そうな
ふっくらとした
体をしている。

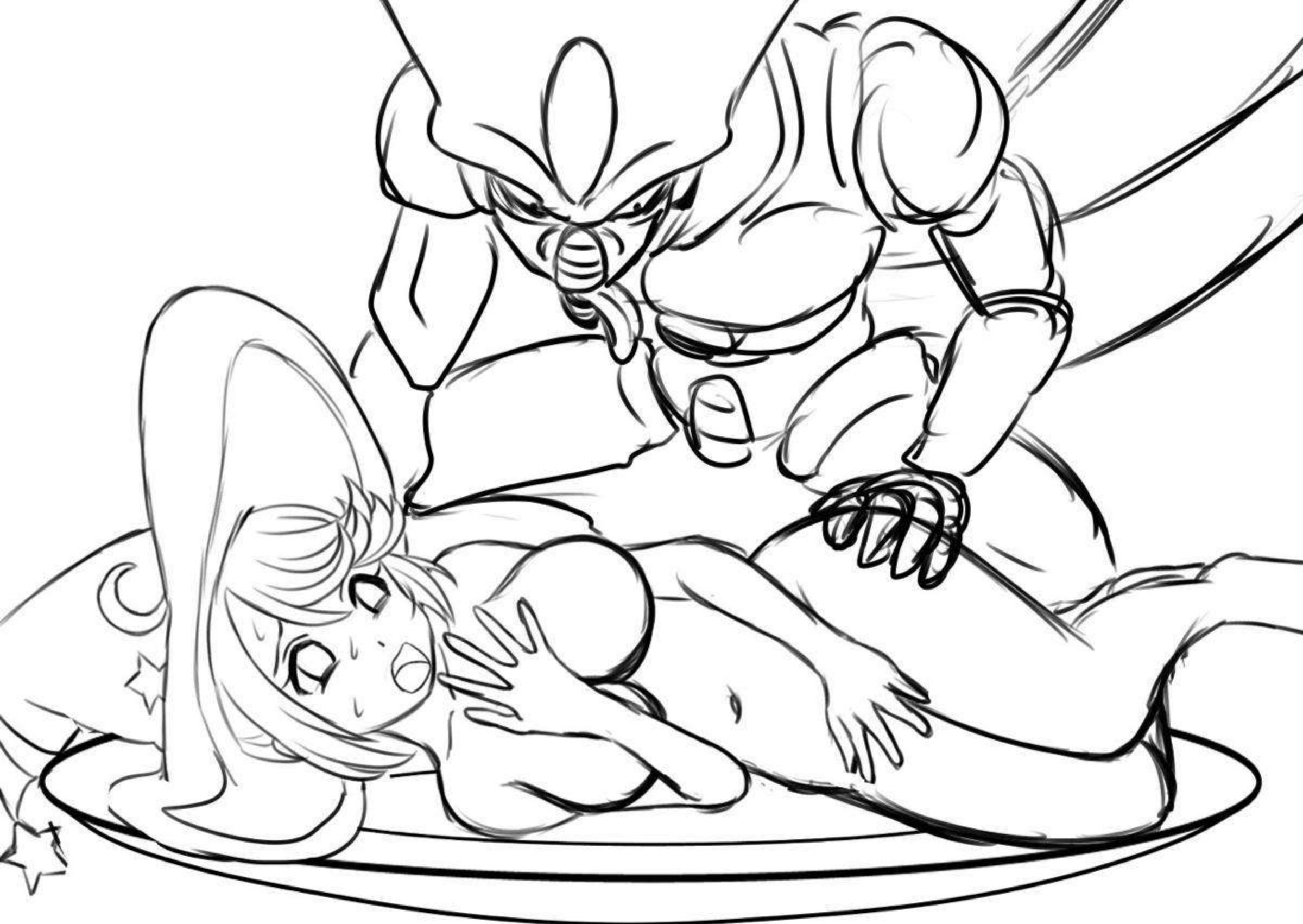
もう
魔王様に
挑みませんから、
許してくださいさあ……



少し固いな。
まだ緊張している
のではないか

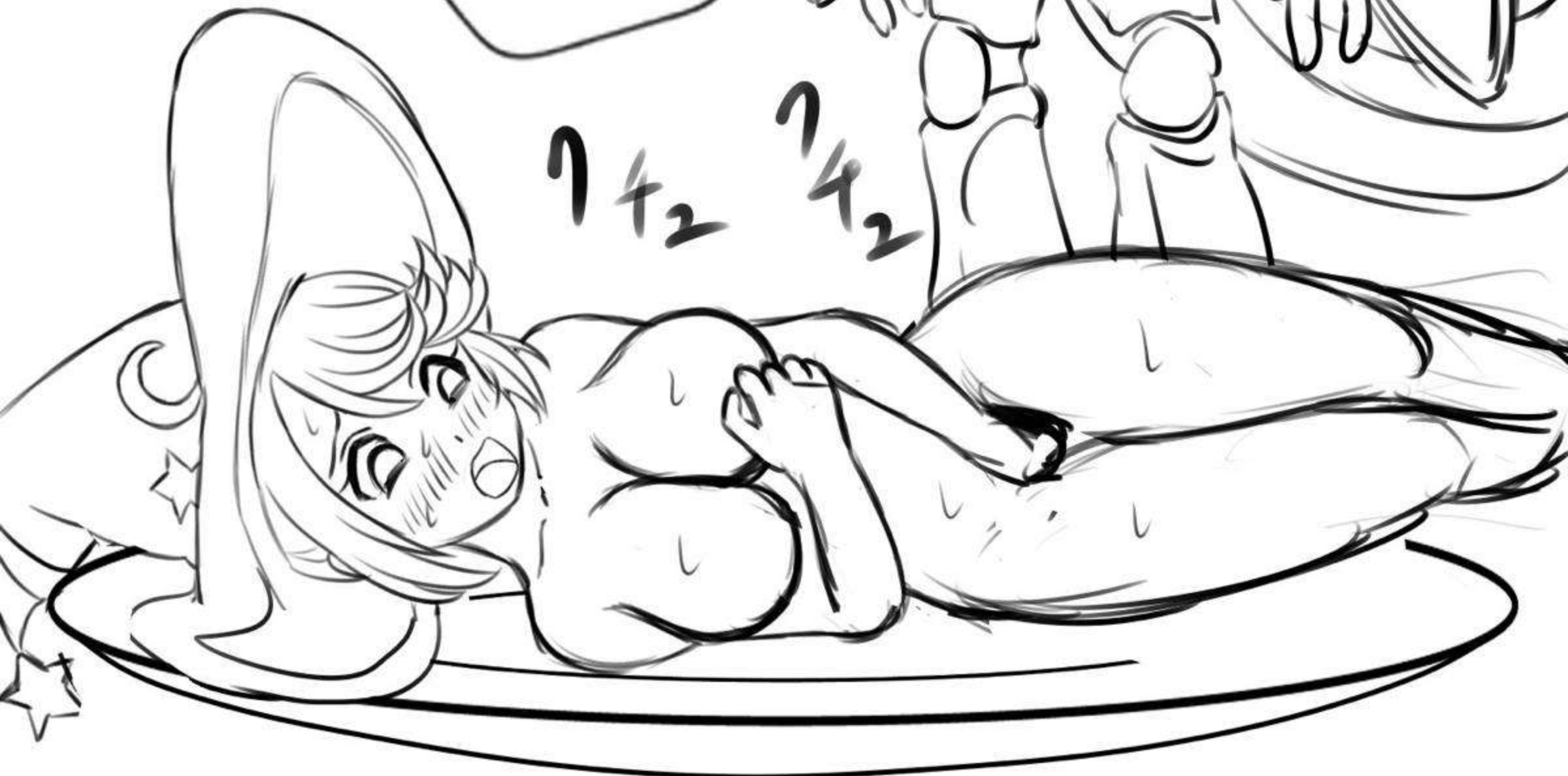
ひっ！？

ご安心下さい。
魔法をかけておりますので、
全て魔王様の
思う通りでございます

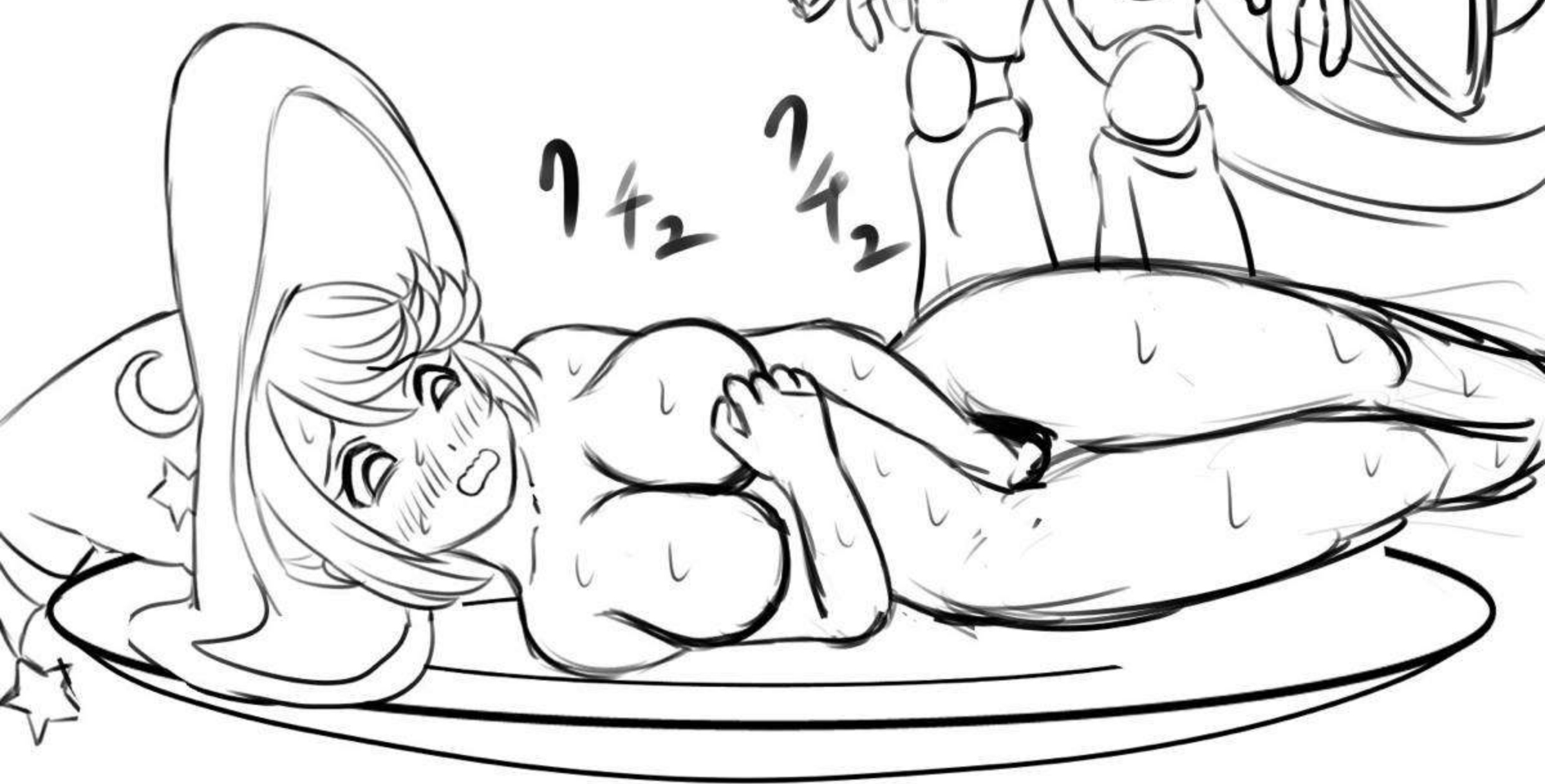


自らを慰め、
貴様の淫らな姿を
俺様に
見せ付けるがいい！

そんな
恥ずかしい事
嫌ですう！
えっ！？
どうして！？



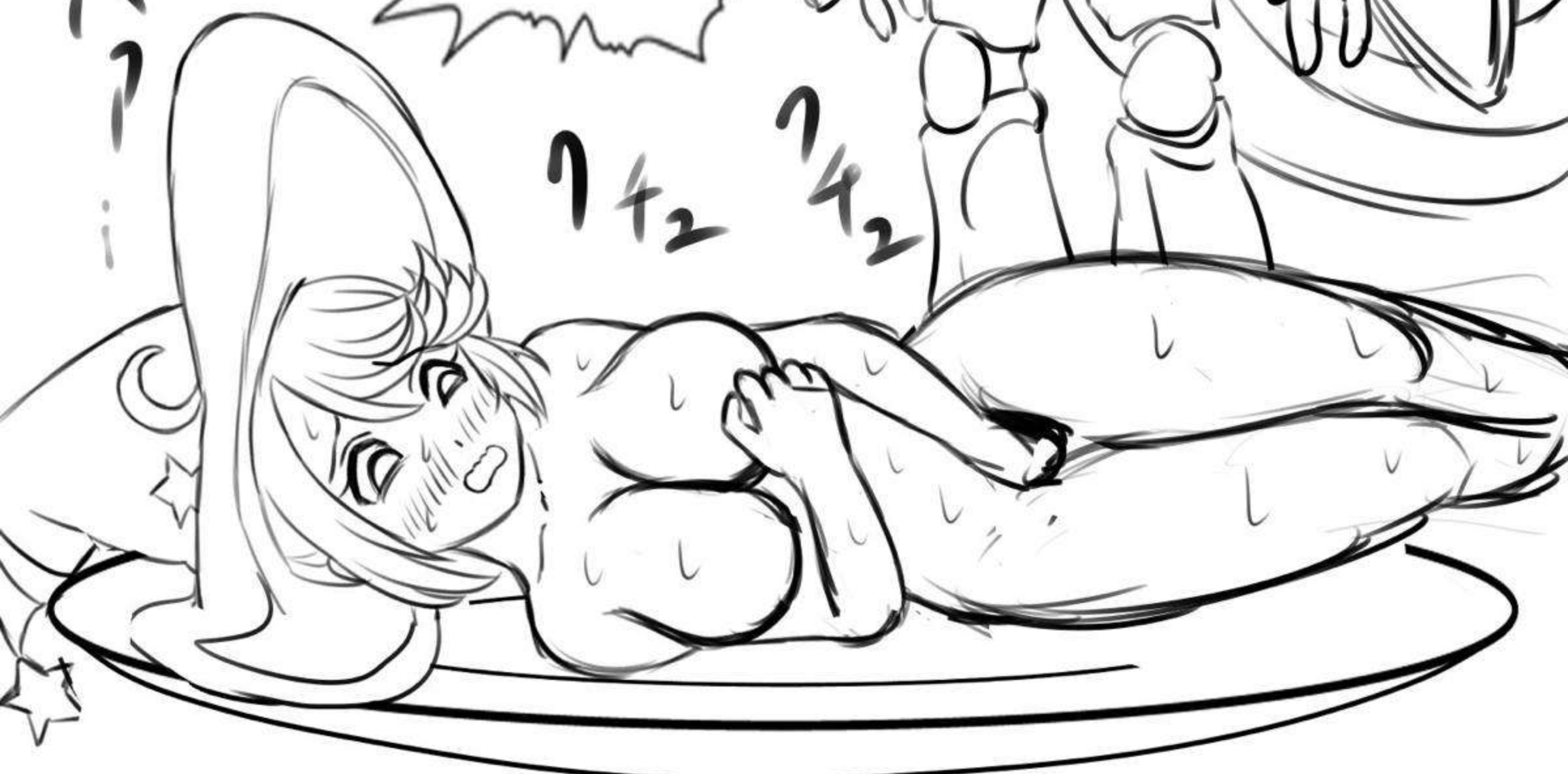
いやっ!?!?
どういう
事ですかあ!?!?



手慣れたものだな。
貴様いつも
そうやって
しているのか？



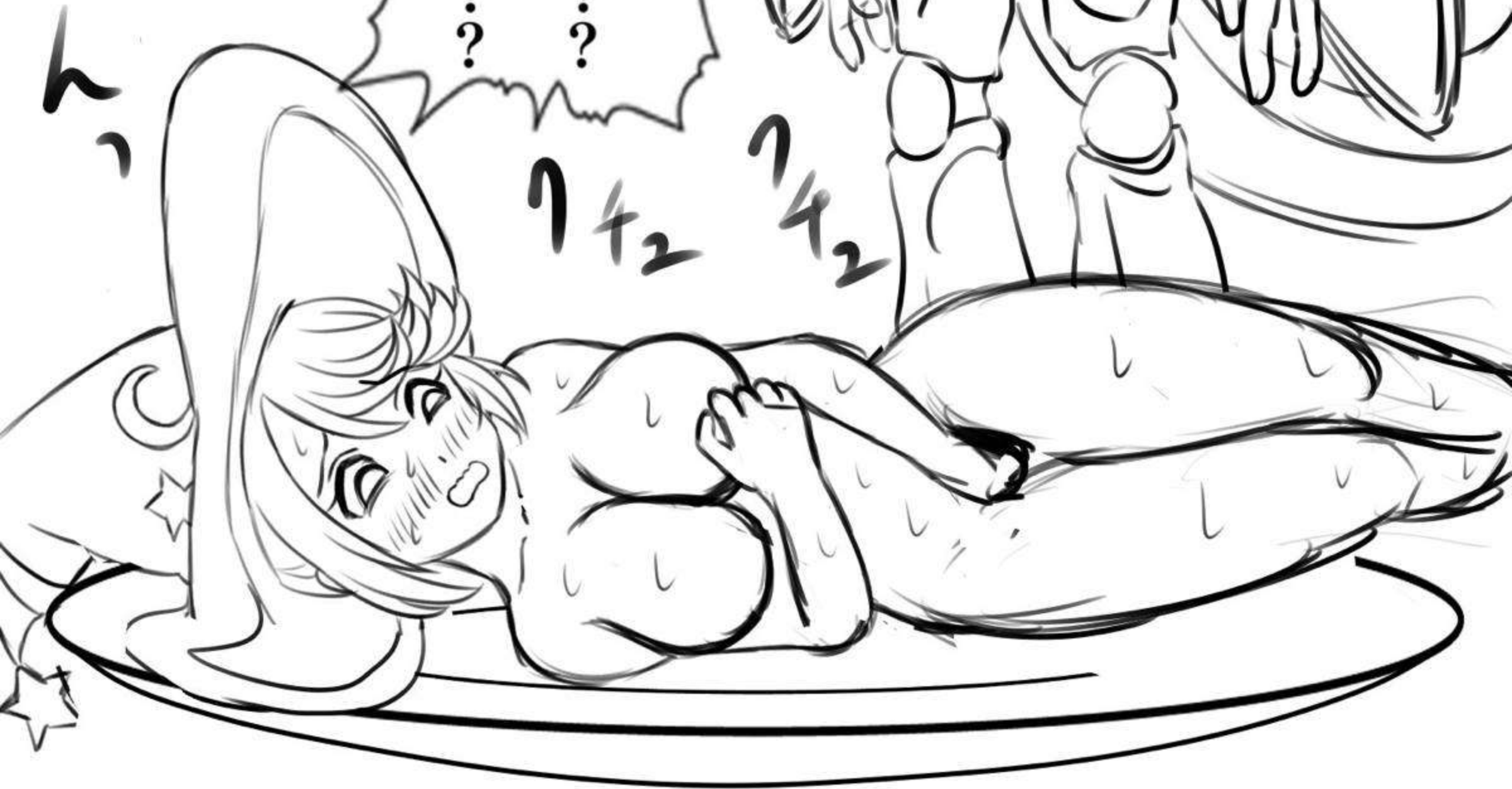
してません！
いやっ！
こんなの！



そろそろ
盛り上がって
きたようだな。
ならいつもして
いる
時のポーズになれ



いつもの
だなんてっ!?!
あっ!?!
体が勝手に!?!



フハハ。貴様は
いつものデカイ尻を
突き出してオナニーを
してるのか

違いますう！
こんな事
してませえん！



どれくらい肉が
柔らかくなっただか
確かめてやろう

痛い！
やめて！
痛い！



柔らかくなつて
来たじやないか！
尻がプリプリと
揺れているぞ

やめてくださあい。
許してくださいさあい。



ゴーン

オナニーを見られ、
尻を叩かれ
感じていたのか。
こんなにか
じやないか
濡れている

違いますう…



アソコを
ヒクヒクさせて、
これが欲しいん
じゃないか？

ひっ！？
そんな太いの
入りません！

